

議 事 録

会議名称	平成30年度 第3回座間市子ども・子育て会議
日時	平成31年3月15日（金） 9：30～11：30
場所	座間市役所5階 5-2、3会議室
出席委員	大下聖治、小澤ゆり、金子智実、小島良之、作佐部慶子、早苗真由美、椎野一子、長本享一、野島美里、飛田昭、山近佐知子、若井千鶴
事務局	子ども未来部長、子ども政策課、子ども育成課、保育課、青少年課、健康づくり課、株式会社ぎょうせい
次第	<p>1 開会</p> <p>2 議題</p> <p>(1) 平成31年度教育・保育の利用定員について</p> <p>(2) 平成30年度座間市子ども・子育て支援事業計画の点検・評価報告書について</p> <p>(3) 第2期座間市子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査について</p> <p>(4) 小田急相模原駅前西地区再開発ビルについて</p> <p>(5) 答申について</p> <p>(6) その他</p>
配布資料	<p>資料1 平成31年度教育・保育の利用定員について</p> <p>資料2 平成30年度座間市子ども・子育て支援事業計画点検・評価等報告書（案）</p> <p>資料3-1 座間市の子ども・子育てに関する調査 結果速報</p> <p>資料3-2 第2期座間市子ども・子育て支援事業計画策定スケジュール（案）</p> <p>資料4 答申書（案）</p> <p>参考資料1 座間市立第2子育て支援センター「ごまりんのおうち ひまわり」について</p> <p>参考資料2 民設保育所「子どもの家 ひまわり保育園」について</p>
<p>（会議経過）</p> <p>子ども子育て会議委員14名中12名全員が出席し、座間市子ども・子育て会議規則第5条第2項により会議が成立。</p> <p>1 「開会」</p> <p>子ども未来部長より挨拶</p> <p>2 「議題」</p> <p>資料を確認後、座間市子ども・子育て会議規則第5条第1項により子ども・子育て会議は会長が議長となると規定されているので、大下会長が議事を進行した。</p>	

(傍聴者入場)

○会長

議題(1)平成31年度教育・保育の利用定員について事務局よりお願いします。

○事務局（保育課）

※資料1について説明をした。

○会長

何か事務局に質問はありますか。

○委員

この資料を見まして、私は保育園の人間ですが、定員数が出て、実際には定員をオーバーして入ってきていると思うのですけれども、今、20%までは、国の施策でよろしいとなっているので、それにもかかわらず、需要が多いと聞いているのですけれども、そこら辺、今年度のニーズが確定しているはずですよね。待機児童も含めて、はっきり言いますと、座間市は多いほうになっているので、今年はどういう見通しか、聞いてもよろしいでしょうか。

○事務局（保育課）

待機児童に関しては、県の記者発表をもって、正式に発表させていただきますので、この場では、まだ集計中という形でのお答えしかできない状態でございます。何とぞ御理解いただきますよう、よろしくお願いいたします。

○会長

他に質問はありますか。他にないようでしたら次の議題に移ります。

議題(2)平成30年度座間市子ども・子育て支援事業計画の点検・評価報告書について事務局よりお願いします。

○事務局（子ども政策課）

※資料2について説明をした。

○会長

何か事務局に質問はありますか。

○事務局（子ども政策課）

質問をいただきましたので、説明します。

まずこちらの冊子は、平成30年度座間市子ども・子育て支援事業計画点検・評価等報告書案となっております。表紙下部に平成31年3月とありますが、これは現在、平成31年3月ですので、このように表記をさせていただいております。

こちらの資料の中身なのですが、平成30年度は第1回、第2回の2回に分けて、前年度の平成29年度の事業について、点検・評価を行いました。なので、表紙は平成30年度とありますが、中身については、前年度の平成29年度の点検・評価を行った内容となっております。

例外として、保育園の利用定員だけは、平成31年度のものとなっておりますが、基本は、平成29年度の内容となっております。

また、青少年相談の虞犯ということについて、質問が来ておりますので、担当の青少年課から説明をお願いいたします

○事務局（青少年課）

虞犯でございますけれども、罪を起こすおそれのあることということで、ここにある不良行為と同じようなことでございますけれども、具体的には、私どもでは、家出、無断外泊、薬物等の乱用、金品の持ち出し、不良交友、不健全性的交友、飲酒・喫煙などをこちらの区分けにしております。

○事務局（子ども政策課）

23ページの保育サービスの充実ので、市内1園で実施とありますが、1園とはどこの保育園か教えてくださいということで、保育課から回答をお願いいたします。

○事務局（保育課）

休日保育を行っている事業者でございますが、座間子どもの家保育園でございます。

○会長

他に何かお気づきの点、御不明な点がございましたら挙手をお願いします。

○委員

資料2の16ページ、保育コンシェルジュの実績値についてお願いします。

○事務局（保育課）

こちらの実績値なのですが、年度単位で集計をとっておりますので、平成29年度で4月1日から3月までの間の実績の形になっています。

○会長

他に質問はありますか。ないようでしたら次の議題に移ります。

議題(3)第2期座間市子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査について説明をお願いします。

○事務局（子ども政策課）

※資料3-1について説明をした。

○会長

何か事務局に質問はありますか。

○事務局（子ども政策課）

委員の方から事前に質問をいただいております。4ページの（1）お住まいの学区についてということで、「ランダムに配布されましたが、その地域に住んでいる人の割合を加味して配布していますか」とい

うことなのですが、こちらはあくまでも未就学は3,000件、小学校低学年については1,500件、座間市の住民登録台帳から無作為に選出を行っておりますので、その地域に住んでいる人の割合を加味して配付したものではありません。ランダムに、無作為に抽出しております。この結果が4ページの（1）の小学校区の割合の結果となっておりますので、よろしくお願いいたします。

○会長

他に質問はありますか。

○委員

最近、いろんなアンケートを読ませていただいたり、私どもが考えるときに、1つの指針というものがある、回収率が50%ぐらいのデータを見るときにの注意事項というのは、特定の世代、特定の方々が抜けている可能性が多いのです。これも50%ぐらいの回収率になっているかと思うのですけれども、その点については、どう判断された答えなのでしょう。これが全てだという判断は、ちょっと危ないという気がします。50%ぐらいの回収率のアンケートでは、特定の階層、特定のそういう方々が抜けていることは、結構多いのです。それで結論づけをすることのリスクはあるという気がしたので、最初にそこだけ伺いたいと思います。

○事務局（子ども政策課）

未就学3,000件というのは、各年齢500人ずつ抽出ということになっております。500人というのは、座間市は、1年間に1,000人お子様が生まれますので、その半分の数値ということで、500人を抽出して、3,000件ということになっております。小学校1年生から3年生も同様に、約1,000人のうち、半分の500人を抽出ということになっております。

○委員

そうではなく、集めたデータが50%しかないということは、例えばよくあるのは、所得のある一定のランクの人が出さないことが多いのではないかと、祖父母等とありますけれども、そういう人が最初からいない方々が多いのではないかと、50%ぐらいの回収率だと、そういう特定の方々が抜ける可能性が比較的多いのです。そうすると、出てきたアンケートの結果に関して、それだけで評価することの怖さがある気がしたというだけの話です。数がどうこうということではないです。特定の階層が抜けているとすると、アンケート自身の信憑性に問題があるのではないかと思っただけの話です。

○事務局（ぎょうせい）

今の質問に関しては、私から回答いたします。今回の50%強という回収率については、今回の対象者の方、未就学時の保護者あるいは小学校低学年児童の保護者、全体から見れば、統計上、十分な回収が得られているという結果だと思います。ただ、委員が御指摘のように、例えばひとり暮らしに限定して見た場合ですとか、ある家計の状況別に限定して見た場合、必要な母数が得られるかどうかというのは、集計をかけてみて、それぞれの母数がどれぐらいあるのかによって、誤差がすごく大きい結果になってしまうのか、そうではないのかというのが見えてくると思います。ですので、委員が御指摘の点は、十分に注意を払いながら、今後クロス集計を行っていくときに、各属性、これは本当に市全体の状況を反映した結果なのか、あくまで十分な回答が得られなかったという結論で回答したほうがいいのか、そのあたりは注意をしながら、集計結果を御報告差し上げたいと思います。

○会長

今のように、調査全体にかかわることでも構いません。何がございましたら、お願いいたします。

○委員

45ページの(3)で、児童ホームの質問に対して、やや不満、不満に○をつけた方に伺いますというところで、一番多いのが指導員の対応の改善ということで、48.6%になっているのですが、多分子どもたちも多様化して、大変なこともたくさんあるのではないかと思います。指導員さんの研修とか、そういうことがもしわかれば、教えていただきたいと思います。

○事務局（子ども育成課）

児童ホームの指導員の研修について、お答えいたします。現在、座間市の児童ホームにつきましては、放課後児童支援員という認定資格の取得を進めておりまして、認定資格を取得するための研修の受講を進めております。

また、神奈川県では、支援員の資質向上研修も実施しておりますので、そちらの研修については、受講機会の確保をつくり、なるべく多くの指導員が受講できるように進めております。

○事務局（子ども政策課）

最後の9章ですが、ニーズ調査票の中に、最後の質問で、これまでの設問以外で、子育てについて、「何か思うこと、感じるがあれば、御自由にお書きください」という自由意見の記述を設けております。自由意見については、結果速報には詳細は添えておりません。現在、自由記述について、集計を進めているところでございますので、こちらの結果速報には掲載されておりませんので、よろしくお願いいたします。以上です。

○委員

31ページ、地域の子育て支援事業の利用【未就学のみ】の(1)のところ。次の事業で知っているものや、利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えくださいという設問になっています。

回答ですが、①知っているものというところで、ネウボラざまりん、養育支援訪問事業、保育コンシェルジュ、この3事業について、認知度が22.6%、21.3%、15.8%と低い数値になっているということで、今後この3つの事業について、認知度をふやすために、どのような取り組みをしていくのでしょうか。

○事務局（子ども政策課）

ネウボラざまりんの関係の部分について、お答えさせていただきたいと思うのですが、ネウボラざまりんは、8月1日にスタートした事業ということで、市役所2階の子ども政策課、健康づくり課の合同で、母子の総合窓口という形でスタートしたということなのですが、8月スタートで、この調査が12月ということで、また日が浅いという部分もあるかと思います。お子さんを出産されると、必ず立ち寄る窓口になってくるので、今後、窓口を利用される方がふえていけば、認知度は上がっていくだろうとは思っています。周知については、これまで以上にさまざまな形で努力をしてきたいと思っています。これからつくる紙面、冊子等にも必ず入れていくような形でやっていきたいと、ネウボラざまりんについては、思っております。

○事務局（子ども政策課）

養育支援訪問事業について、お答えいたします。資料2の子ども・子育て支援事業計画点検・評価等報告書（案）にも書いてありますけれども、対象は、虐待のおそれやリスクを抱える家庭等ということで、広く一般的にというよりは、限定的な事業となっておりますので、広く周知していく事業ではないと思っております。ただ、かかわりがある中で、こういった事業がありますということで、案内をしておりますけれども、どうしてもうちにこもってしまって、第三者の目が入るのは、嫌がる家庭が多いので、そういったことに関しては、配慮しながら、利用を進めていっている次第です。

○委員

現場から追加です。41ページの一時保育のところですが、事業の利用方法がわからないということがございます。17.7%です。一時預かり等の部分の利用していない理由は何ですかというところで、そういう数字が出ています。これを見て、実施しているほうとしては、非常にショックを受けました。一方、31ページでは、保育園の一時預かりは85.5%ということで、数字として上がってきているわけです。要するに謙虚に受けとめれば、我々は、実施している側として、いろんな媒体等を通じて努力を続けていかなければいけないと思うのですけれども、私が言いたいのは、いろんな方法で市は努力されて、宣伝しています。でも、実際にやっている現場の感覚すれば、積み重ねによって浸透していくのが、一番強いのではないかというのが実感なのです。

例えば私のところは、一時預かりもやっていますし、休日もやっております。個人的に言いますと、座間子どもの家保育園です。法人としては、子育て支援センターもやっております。子育て支援センターに至っては、他市とデータで比較したわけではないのですけれども、相当数の来訪者があります。これは誇っているのではないかとということで、私は言っているのですけれども、1つの特徴は、ネウボラざまりんというのは、市役所に行くからやりづらいという意見があったりしますが、ここだと来やすいとか、そんな感じの意見が今まであったのです。そういうことですけれども、他市に比べると、子育て支援センターは相当利用しているし、一時保育の利用もあると思います。

私は保育会なので、民間の保育園がやっている中では、利用者が多いのですが、やはり一時保育の利用というのは、需要度が高いです。キャンセル度も高いのですけれども、望まれて、そういう対応をしているということも、最初、始めたころよりは、随分いっているのです。

それから、コンシェルジュの問題ですが、先日、保育会があったときに、課長から、コンシェルジュについても、今の中では、市から民間やいろんな保育園に赴きながら、いろんな需要などに対応していきたいということを伺いました。今日は、そちらから出ていなかったのですが、我々現場がそれを聞いて、市としては大変努力しているし、積み重ねが一番だということです。結局、継続です。それが力になっているということをしみじみ感じるものですから、今、17.7%という、ちょっとショックな数字と、同時に、こちら側の数字を見たときに、今後、メディアとか、媒体は当然ですけれども、実際にやっているところ、しかも、先ほど山近委員から出た、内容の豊富さ、例えば支援センターでいえば、指導員の研修とか、そういうものによって、もっと数字が上がるのではないかと。こういうのが私の現場からの感覚でございます。一応参考までに発言させていただきます。

○会長

ありがとうございます。 保育コンシェルジュの説明をお願いします。

○事務局（保育課）

我々保育課に配属しております、保育コンシェルジュなのですが、区分的に特定型というコンシェルジュになります。特定型はどういうものかといいますと、待機児童の解消を図るために保育コンシェルジュを置くということが、主なものになっております。

前回も保育コンシェルジュの実績について、低いのではないかという御指摘をいただいていたしまして、今回、入所保留となった方に、保育コンシェルジュという制度がありますという通知の文書を同封させていただきまして、発送した結果、さまざまな反響がありまして、待機児童の解消のために、保育コンシェルジュと入所担当がともになって、二次選考等で待機児童の解消を図っている状況でございます。

また、通常に関しては、今年度、特別保育を実施している保育園を巡回させていただいてまいまして、利用状況、利用実態等を把握させていただいておりますので、今後もその旨を継続して、より多くの皆様に、特別保育の内容、実態等を御説明できればいいと思っています。

○委員

最後の巡回について、もう一回、詳しく説明していただけますか。

○事務局（保育課）

実際、特別保育のところで、一時預かりとか、休日預かりを実施している施設に赴きまして、利用状況とか、利用実態の確認をさせていただいております。その中で、1点、今、具体的にということなので、施設の所管からいうと、一時預かりなのですが、通常保育と違って、一時預かりというのは、初めてのお子様を預かる制度になりますので、特に0歳児、1歳児の初めてのお子様というのは、変な話、SIDS、乳幼児突発性死亡症候群等々が心配されますので、受け入れ側も慎重にならざるを得ないというところは、非常に感じております。通常保育も大変なのですけれども、普段預からないお子様を預かる場合に対しては、非常に配慮が必要な事業であるということは、感じた次第でございます。

○会長

そのほか大丈夫でしょうか。ないようでしたら次の議題に移ります。

議題(4)小田急相模原駅前西地区再開発ビルについて説明をお願いします。

○事務局（子ども政策課、保育課）

※参考資料1、参考資料2について説明した。

○会長

ただいま2つの新しい施設について、説明がございましたけれども、これにつきまして、御質問があれば、お願いをいたします。

ないようであれば、次の議題に移りたいと思います。議題(5)答申についてです。事務局からお願いをいたします。

○事務局（子ども政策課）

※資料4について説明をした。

○会長

それでは、資料2及び資料4をもって、平成30年度の座間市子ども・子育て会議の答申とすることに、

異議がある委員の方はいらっしゃいますでしょうか。

○委員

異議はないのですけれども、ちょっと強調してほしいことがあります。今の調査結果及び市の今までの回答の中で、まず調査結果の25ページのところで、保育園、認定こども園等々を利用したいという数字が非常に多く出てきています。また、6のところでも、空きがないというのは、25%を超えてあるそうなので、これだけ整備しているのに、そういう数字が出てきています。

このことに鑑みて、私から少し意見を述べさせていただきたいと思いますが、私どもは、ここに書いてあります、座間市にある二十何園のうち、20園以上を組織している保育会です。公立と民間が一緒になって組織している園長会の中から、要望が出たことをうまく盛り込んでほしいと思います。

関連して言いますけれども、先ほど待機児童のことも言いましたが、まだまだ座間市は待機児童が多いと私どもは認識しております。それについては、保育会でも、今後とも協力していきたいという意向を持っております。しかし、10月から無償化という問題が出てきます。無償化を考えていったときに、幼稚園、保育園の無償化というところでは、お金のことが出ていましたから、保護者にとってもよろしいかと思うのですけれども、問題は、0歳、1歳、2歳の需要のところで、逆に無償化によって、ニーズがもっと高くなるということが予想されます。そういうことに対して、どう応えていくのかという中で、私たちの保育会の中では、座間市は民営化の計画を一度出してある。これについて、どうなっているのか、もう一度、希望を出しながら、意見を言ってほしいという、特に民間の保育園から、協力したいけれども、どうしたらいいのだろうかという意見が出てきました。それを伝えたいと思います。

もちろん他市もやっているのは、民営化をすることで、財政問題です。交付金が市にあって、公立保育園を運営しているわけですが、この金額は非常に不明確で、今は保育園ではなくて、国から直でお金が来ているから、市にとっては、大変財政的に有利になるはずですが、そういう状況の中で、民営化が進んでいると思います。

さらに人件費等々の問題もあるでしょう。ただ、先ほど出た待機児童が多く予想される中で、一般的に民営化というのは、拡大することで、特に意識的に市が方針を出して、0歳、1歳、2歳の拡大を並行して、民営化をするというやり方をとれば、待機児童解消にも役立ちます。

ということで、他市でもやっていることなのだと思いますけれども、市も同じような考え方を持っているようには聞いていますが、現在のところ、実施の見通しは、「点検・評価等報告書（案）」の33ページに、公立の民営化に関しては、かねてより事務局でも議論を進めておりまして、公立保育所の整備計画を立てたのですが、現在、見直しを行っているところであります。こういうふうにしてあるので、答えは出ていると思うのですけれども、それが私たちに伝わってきていません。

ということで、当時、民営化を図るときに、私たちの要望のもう一つは、例えば学童でも同じですが、保育の質といいますか、保育の内容を下げないで、民営化していく。むしろ逆に今までも座間市は大変公立が多くて、いろんな意味で先頭を引っ張ってきた。そういう意味では、内容を民営化することで薄まらないようにする。

公立保育園と民間のあり方みたいなものも含めて、市としての姿勢を持って、そして、答申の中のなお以下の文章です。待機児童解消を実現するためには、保育園の定員増、または設置する必要があることを申し添えますと書いてありますが、この中身として、民営化ということをうたうかどうかは別としても、今、私たちの子ども・子育ての中でそういう話をして、答申を申し添えたということを入れておけば、内容としてはよろしいと思うので、御意見として申し上げました。

以上です。

○事務局（子ども政策課）

今、いただいたお言葉は、そのとおりだと思います。

答申書の最後、待機児童のいる0～2歳児については、さらに保育園の定員増、または設置する必要があることを申し添えますという文章、さらに今、お話のあった部分を加えるような形で、こちらを再検討させていただきまして、でき上がったものは、会議は、今年度、今回が最後になってしまうので、書面で皆さんに御確認していただく形で提出することによろしいですか。そんな形でやらせていただければと思います。

○会長

会長一任ということでよろしいですか。

○委員

一任でいいと思います。

○事務局（子ども政策課）

ありがとうございます。

○委員

商工会という立場で、いろんな事業者の方が加盟している団体であって、話をするのですけれども、無償化についても、子育てとか、いろいろな面で非常に素晴らしいことだとは思いますが。

ただ、反面、待機児童の方は、何の恩恵を受けないわけですから、その辺について、一概に手放しで本当に喜んでいいのか、逆に差別ではないかという気がいたします。そういった中での表現も、もしよければ、入れ込んでいただいていいのではないかと思います。

受けられる方にとって、非常にいいことだと思いますけれども、逆に行けない子については、何もないわけですから、そういったところの違いをはっきりと、そういうふぐあいな方もいらっしゃるということは、明らかな話ですから、十分に注意した答申にしていなければならないのではないかと。当然文章等については、意見をさせていただきますけれども、御考慮いただければと思います。

○会長

ありがとうございます。

貴重な2つの御意見をいただきましたので、これを含めて、一任ということでお願いできればと思います。

それでは、次に議題(6)その他になります。事務局からお願いいたします。

○事務局（子ども政策課）

今回、その他としましては、特段御審議いただくことを用意してはございませんので、委員の皆様から、何か審議すべき事案がございましたら、御提案をここでしていただければと思うのですけれども、いかがでしょうか。よろしくお願いします。

○会長

何か提案がございましたら、お願いいたします。

ないようであれば、今度は、全体を通じまして、最後になりますけれども、質問、御意見等ございましたら、お願いいたします。いかがでしょうか。

ないようであれば、以上をもちまして、本日、予定しておりました議事は、全て終了いたしました。

ここで司会進行を事務局にお返しいたします。

○事務局（子ども政策課）

ありがとうございました。

それでは、以上をもちまして「平成30年度 第3回 座間市子ども・子育て会議」を閉会とさせていただきます。本日は、どうもありがとうございました。

次回なのですけれども、年度が変わりまして、平成31年度、第1回の会議を6月ごろ予定しております。詳しいことは御連絡をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

30日、先ほど御案内いただきました、小田急相模原の施設の開所式を開催いたします。お時間が許されるならば、ぜひお越しいただきまして、新しい施設をぜひご覧いただければと思います。どうぞよろしくお願い致します。

本日は、どうもありがとうございました。